



坂井 修一 (SAKAI Shuichi)

情報理工学系研究科 教授

東京大学理学部卒業、
同大学院工学系研究科博士課程修了。
工学博士。

○情報理工学者として

電子技術総合研究所 (現 産業技術総合研究所)、マサチューセッツ工科大学、筑波大学などを経て、現在、情報理工学系研究科長、教授。

専門は、情報システムとその応用、特に計算機アーキテクチャ、並列処理、スケジューリング、省電力情報処理、ディペンダブル情報処理。

情報処理学会研究賞、同論文賞、日本 IBM 科学賞、市村学術賞、IEEE Outstanding Paper Award、Sun Distinguished Speaker Award、元岡記念賞、大川出版賞などを受賞。

著書に、『論理回路入門』、『コンピュータアーキテクチャ』、『実践コンピュータアーキテクチャ』、『知っておきたい情報社会の安全知識』、『IT が守る、IT を守る —天災・人災と情報技術—』など。

情報処理学会フェロー。電子情報通信学会フェロー、理事 (情報システムソサイエティ次期会長)。IEEE シニア会員。人工知能学会、ACM 各会員。日本学術会議連携会員。

○歌人として

1978 年「かりん」入会と同時に作歌開始。

歌集『ラビリントスの日々』(現代歌人協会賞)、『群青層』、『スピリチュアル』、『ジャックの種子』(寺山修司短歌賞)、『牧神』(茨城県歌人協会賞)、『アメリカ』(若山牧水賞)、『望楼の春』(迢空賞)、『縄文の森、弥生の花』、『亀のピカソ』(小野市詩歌文学賞)、『青眼白眼』。評論集『斎藤茂吉から塚本邦雄へ』(日本歌人クラブ評論賞)、『世界と同じ色の憂愁』。その他、『鑑賞・現代短歌 塚本邦雄』、『ここからはじめる短歌入門』、『現代短歌文庫 坂井修一歌集』、『現代短歌文庫 続・坂井修一歌集』。

「かりん」編集人。現代歌人協会理事。日本文藝家協会、日本歌人クラブ会員。